

情報名	温州萎縮ウイルスの簡易迅速検定キット (SDV クロマト*)		
利用対象	カンキツ生産に関わる農業者、関係団体等		
関係機関	(独) 農研機構果樹研究所、福岡県総合農業試験場果樹苗木分場、佐賀県果樹試験場、静岡県農林技術研究所果樹研究センター、(株) ミズホメディー	掲載承認	○
詳細情報入手先	(株) ミズホメディー http://www.mizuho-m.co.jp/product/sdv/sdv_main.html * SDV クロマトは株式会社ミズホメディーの商品名です。		

1. 想定導入先の背景

温州萎縮ウイルス (SDV) は土壌伝染、接木伝染し、樹全体の萎縮、樹勢低下、果実品質・収量の低下を引き起こします。

2. 慣行技術の課題

温州萎縮ウイルスの検定には、エライザ法、PCR 法などの方法がありますが、研究機関等において専門的な機器を用いて検定する必要がありました。

3. 開発成果の内容

誰でもどこでも温州萎縮ウイルスを簡易にかつ迅速に検定できるキットです。

試料の調製と測定方法

- ① 検体磨砕試液を磨砕容器の目盛りまで(0.5mL)入れます。
- ② 新葉(0.1g相当)を添付のスティックを用い、検体磨砕液に浸るまで磨砕容器に入れます。
- ③ 滴下ノズルを磨砕容器に取り付け、手で磨砕容器の外から葉を30回程度揉んで、葉を磨砕して下さい。調製した試料は速やかに測定に供してください。
- ④ 試料の入った磨砕容器から、試料3滴をテストプレートの試料滴下部に滴下します。
- ⑤ 15~35℃で15分静置して反応させます。目視にて確認ライン部、判定ライン部に出るラインで感染の有無を判定します。



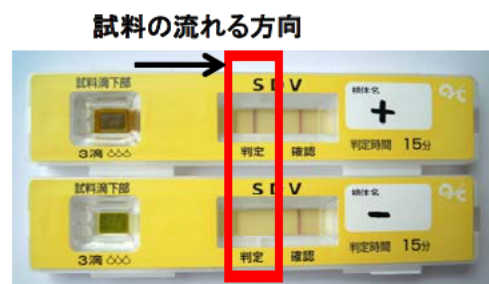
感染樹の葉の変形



SDVクロマトキット
10回用価格 6,300円(税込み)



新葉と磨砕容器



試料の流れる方向
テストプレート判定部に出現するラインで判定
上: 感染樹、下: 未感染樹(判定ライン無)

4. 技術の県内農家への適合性・経済効果

温州萎縮ウイルスの発生が多い地域では、感染樹の早期伐採により感染拡大を防げます。品種更新時の改植・高接ぎ時のウイルスフリー苗や穂木の導入ができます。

5. 技術利用上の留意点

検体には新葉を用いて下さい。他の部分(枝、幹など)はウイルス濃度が低いため、検出できない可能性があります。

情報に関する問い合わせ先	三重県農業研究所 紀南果樹研究室 中嶋香織 TEL 05979-2-0008 FAX 05979-2-2679
--------------	--